

### 総人口が減少する中で、高齢者人口は3627万人と過去最多

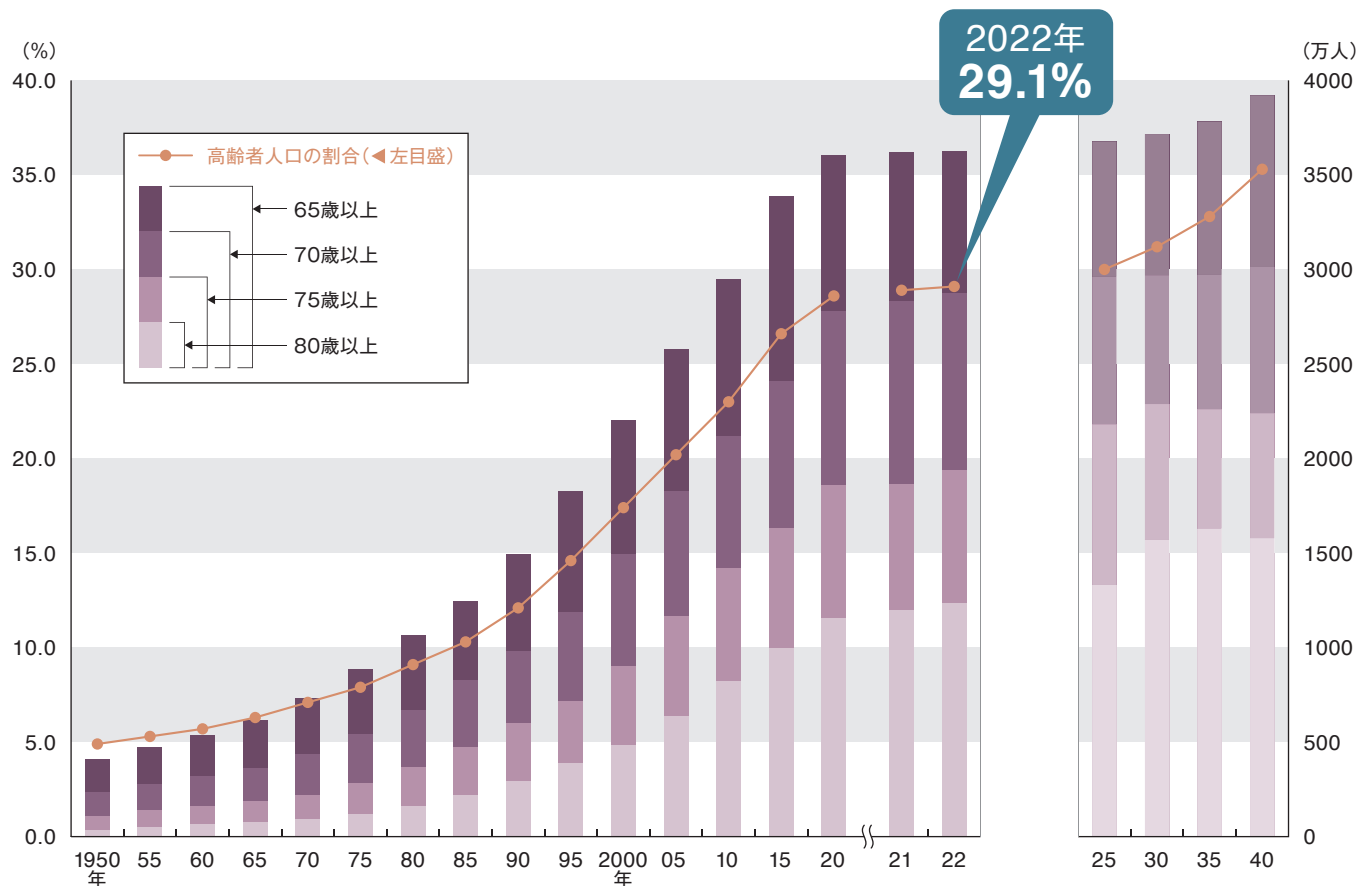
#### 高年齢者人口及び割合の推移(1950年~2040年)

2022年10月1日現在の高齢者(65歳以上。以下同じ。)人口は3627万人、総人口に占める割合は29.1%となり、人口、割合共に過去最高となりました。

総人口に占める高齢者人口の割合の推移をみると、1950年以降一貫して上昇が続いており、1985年に10%、2005年

に20%を超え、2022年は29.1%となりました。

この割合は今後も上昇を続け、第2次ベビーブーム期(1971年~1974年)に生まれた世代が65歳以上となる2040年には、35.3%になると見込まれています。



注1 国勢調査による人口及び割合は、2015年までは年齢不詳をあん分した結果、2020年は不詳補充値

注2 1970年までは沖縄県を含まない。

資料：1950年~2020年は「国勢調査」、2021年及び2022年は「人口推計」

2025年以降は「日本の将来推計人口(平成29年推計)」出生(中位)死亡(中位)推計(国立社会保障・人口問題研究所)から作成

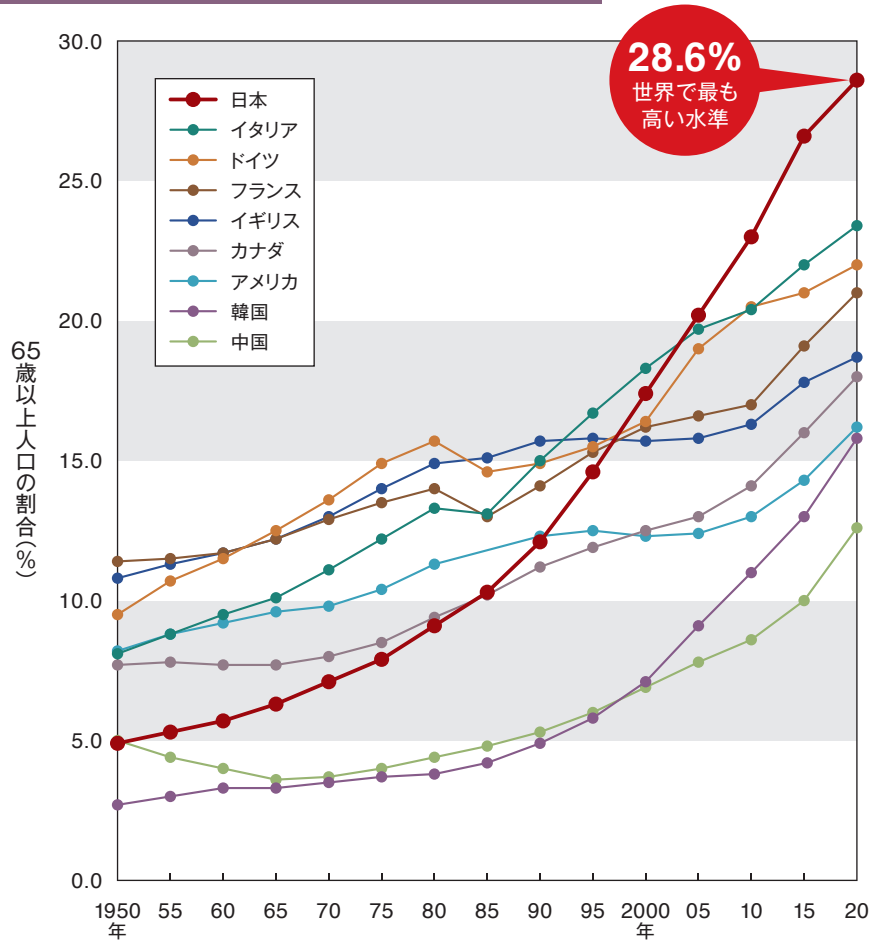


## 65歳以上人口の割合は世界で最も高い水準

### 65歳以上人口の割合の推移-諸外国との比較(1950年~2020年)

総人口に占める65歳以上人口の割合の推移をみると、1950年以前は5%前後で推移していましたが、その後は上昇が続き、1985年には10%を、2005年には20%を超え、2020年は28.6%まで上昇しました。

諸外国と比べると、我が国はイタリア(23.4%)及びドイツ(22.0%)よりも高く、世界で最も高い水準となっています。

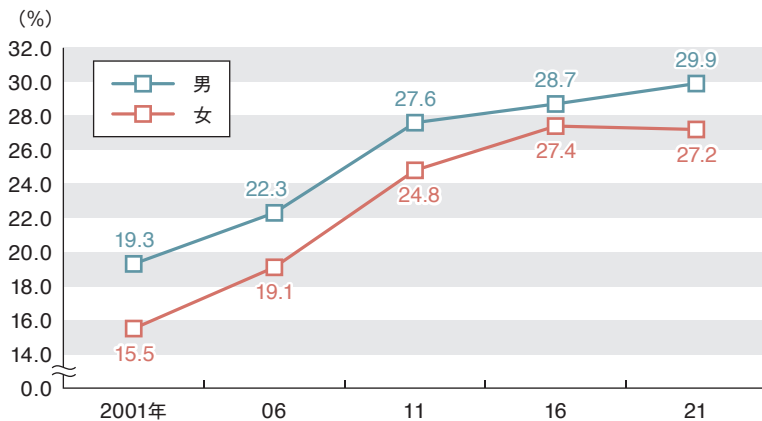


注 日本は2015年及び2020年は不詳補完値により算出。2010年以前は分母から不詳を除いて算出  
資料：United Nations. "World Population Prospects, The 2022 Revision"による。  
ただし、日本は国勢調査の結果による。

## 高まる65歳以上の「学習・自己啓発・訓練」への活動

### 「学習・自己啓発・訓練」の男女別行動者率の推移(2001年~2021年)-65歳以上

65歳以上の人について、男女別に過去20年間の行動者率\*の推移をみると、女性は2016年から2021年にかけてはおおむね横ばいとなったものの男女とも増加傾向となっています。



\* 行動者率とは、過去1年間に該当する種類の活動を行った人の割合(%)  
資料：社会生活基本調査結果